

第2次裾野市環境基本計画の評価結果（令和元年度進捗状況）

1. 概要

「第2次裾野市環境基本計画」の令和元年（平成31年）度の環境に関する取り組み内容の進捗状況について裾野市環境審議会（環境審議委員8名）において評価を実施。

実施日時：令和2年12月3日（水）

14:00～17:00

場 所：裾野市役所 401会議室

2. 評価方法

環境目標ごとに下記の区分で環境審議委員が評価。

区分	進捗状況
A	環境目標(2025年)を達成するために、順調に進捗している
B	一部遅れはあるものの、目標の達成が見込まれる
C	より一層の推進を要する

3. 結果

Aを3点、Bを2点、Cを1点とし、環境審議委員の評価点数の平均を評価基準に従い総合的に評価。全体評価は環境目標1～5の平均ではありません。

評価基準 A …2.5～3, B …1.5～2.4, C…0～1.4

環境目標	平均	評価
1. 【安全・安心】 安全・安心で快適な環境のまちづくり		
(意見) ○生活環境向上の指標に、苦情件数を目標としているが疑問を感じる。 ○市民1人1日平均有収水量の抜本的対策が見えてこない。 ○計画等に基づき、順調に進められている。 ○単独浄化槽から、下水道接続及び合併浄化槽へもっと推進すべき。 ○空き家問題が今後難しい。 ○評価対象を苦情だけで評価するのはおかしい。 ○一斉清掃は義務で出ているので、自主参加の数値が欲しい。	2.6	A

<p>2. 【自然共生社会】 豊かな自然と人が共生するまちづくり</p>		
<p>(意見) ○耕作放棄地解消について抜本的対策が見えてこない。 ○コロナ禍の新しい生活様式の中、今後市民による環境保全活動や環境教育への参加について考える必要がある。 ○手を付けただけでは、解決がいつ訪れるか分からない。耕作放棄地は現在□ha あるから△ha／年解消するという工程を見せてほしい。 ○耕作地にこだわらず、休耕地の他の活用方法を考えても良いのでは。 ○耕作放棄地対策を。 ○公園などの市民満足(18.6%)は、元々の目標値が低すぎるのでは。 ○パノラマロード作業の参加者数は自主参加が増えているのか。</p>	2.0	B
<p>3. 【循環型社会】 環境負荷の少ない循環を基調とするまちづくり</p>		
<p>(意見) ○裾野市関係機関が連携し、ゴミの減量とリサイクル活動が実施されていることが理解できた。 ○継続してごみ削減が進められていることは素晴らしいと考える。 ○プラスチックごみの処理を考えていくべき。 ○ごみ減量が進んでいる。 ○市民のごみ量が減るのは好ましい。</p>	2.5	A
<p>4. 【低炭素社会】 地球温暖化防止に努めるまちづくり</p>		
<p>(意見) ○2050年CO₂排出ゼロに向けて、目標値の再考が必要だと考える。次世代自動車や燃料電池システムの普及には、水素や都市ガス供給のインフラ整備が必須であるが、この対応について全容が見えてこない。 ○焼却量の減量でCO₂削減が図れたことは素晴らしい。 ○化石燃料にかわるものを早々に開発することを希望する。 ○今後、水素自動車などの大きなインパクトのある対応が必要。 ○市の施策として最も重要。CO₂排出を減らすのは最も重要課題。ゼロカーボンを目指す具体策を強力で押し進める必要がある。</p>	2.1	B

<p>5. 【環境教育】 持続可能な社会を実現するための人づくり</p>		
<p>(意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○市内関係機関が積極的に環境教育に携わっていることが理解できた。 ○環境活動登録が、環境教育等の役立つ制度になるよう工夫が欲しい。 ○学校でも環境教育の時間を作る必要があると思う。 ○環境啓発講座がほとんどない。 ○環境活動団体登録制度は魅力がない。情報交換や支援も不明。 	2.5	A
<p>第2次環境基本計画 令和元年度進捗状況(全体評価)</p>		
<p>(意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○コロナ禍により生活様式が大幅に変化した。第2次環境基本計画後期では、軌道修正が必要と感じた。 ○求めるものを実現させるための指標になっているかを追求して欲しい。 ○特に地球温暖化防止対策をすすめるべき。 ○2030年に向けてCO₂削減等課題が多い。 ○もっとも重要な課題は地球温暖化防止。各国2030年までを目標に進めているところが多い。そのためにできる(努力)施策に目標を定めるなど、評価項目も一部見直しが必要では。 ○力を入れるべきことの強弱をつけて、目標設定することが望ましい。 	2.1	B